

風水害編

風水害の影響

雨の強さと影響

強い雨

20～30mm



- 傘をさしてもぬれる
- 小規模のがけ崩れが始まる

激しい雨

30～50mm



- 道路が川のようになる
- がけ崩れが起きやすくなり、下水管から雨水があふれる

非常に激しい雨

50～80mm



- 傘は役立たない
- 車の運転は危険
- 地下街に流れ込むこともある

猛烈な雨

80mm以上



- 息苦しくなるような圧迫感がある
- 大規模災害が発生するおそれ強い

やや強い雨

10～20mm
(1時間雨量)

- 地面からの跳ね返りで足元がぬれる
- 地面一面に水たまりができる

風の強さと影響

強い風

15～20m
<～70km>



- 転ぶ人も出る
- 看板やタン板が外れ始める
- 高所での作業は極めて危険

非常に強い風

20～30m
<～110km>



- 看板が落下、飛散する
- 飛来物で負傷のおそれがある
- 通常での速度での運転が困難になる

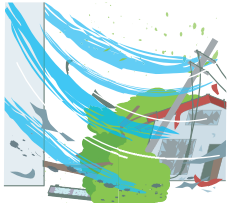
猛烈な風

30～40m
<～140km>



- 屋外での行動は極めて危険
- 電柱や街灯で倒れるものもある

40m以上
<140km～>



- 住家で倒壊するものもある
- 鉄骨構造物で変形するものもある

やや強い風

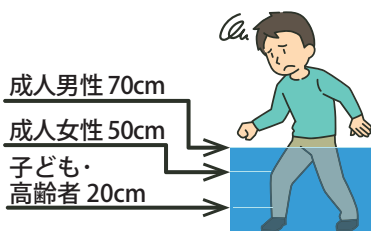
10～15m
(1秒あたりの平均風速)
<～50km>
(およその時速)

- 風に向かって歩きにくい
- 傘がさせない

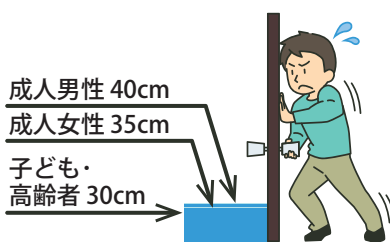
浸水深と避難行動

浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障をきたし、避難行動が困難になります。

歩行が困難になる水深



ドアが開かなくなる水深



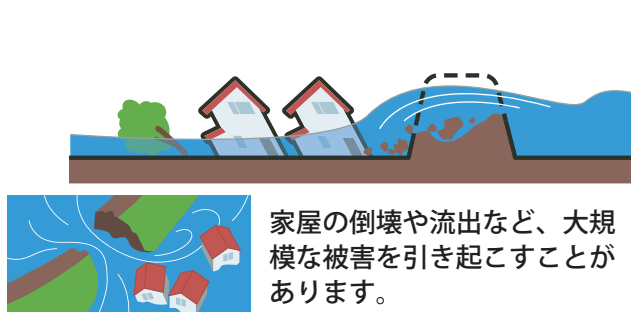
車が止まってしまう水深



外水氾濫と内水氾濫

外水氾濫

大雨により河川の水量が増え水位が上昇し、堤防が決壊したり、堤防を越えて水があふれだす氾濫。



内水氾濫

一時的に多量の降雨が生じた場合に、下水道や排水施設などで排水が困難となり、小さな川やマンホール、側溝から水があふれる氾濫。

